

活動報告

私に取り組んだ地域課題についてご報告します。

東板橋公園入口(板橋こども動物園側)の道路の補修を行いました。

地域の方から「お年寄りや、目の不自由な方が足を取られて危ないので道路を直して欲しい」との相談を受けました。もちろん公園を利用する子どもたちにも危険が及ぶため、早速対応しました。



板橋こども動物園(区役所HPより)



Before



After



板橋区議会議員

田中しゅんすけ

PROFILE

- 生年月日/1968(昭和43)年3月12日 東京都板橋区生まれ
- 学歴/明治大学付属中野高等学校、明治大学政治経済学部経済学科卒業
- 経歴/広告代理店(企画営業)勤務を経て、下村博文代議士の秘書として14年(内、公設第二秘書4年8ヵ月・公設第一秘書2年・政策秘書4年)活動し、平成23年板橋区議会議員に初当選、現在3期目。板橋区議会自民党幹事長・議会運営委員会委員長を経て、企画総務委員会委員長。

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください!

田中しゅんすけ事務所
TEL.03-6780-5278
<https://syunsuke-tanaka.jp>



板橋区政Report

区議会議員田中しゅんすけの区政レポート&活動報告

Vol.13

2021.9



新型コロナウイルスの ワクチン接種状況

災害への備えと対策

令和3年
第1回定例会 代表質問

田中しゅんすけ活動報告

残念ながら11月に開催を予定していた「いたばし花火大会」は中止となりました。

PHOTO:いたばし花火大会



新型コロナウイルス関連

板橋区の新型コロナワクチン接種状況 (2021年9月1日時点)

1回目接種率 316,479回 総人口比 60.80%

2回目接種率 261,000回 総人口比 50.10%

ワクチン接種概要

板橋区では、医療機関が多くある区の特性を最大限に活かし、通いなれた「かかりつけ医」で接種できる体制を優先しつつ、区立施設及び区内医療機関をあわせて約200か所、高齢者施設約130か所で接種ができる体制を構築しました。その結果、国や東京都に比べ、接種するスピードが早くなっています。



板橋区 新型コロナワクチンコールセンター 0120-985-252
午前9時から午後6時まで(土日祝日対応)

災害時の情報収集

まずは、テレビや防災無線で災害状況を確認し、最新の情報収集を!

NHK総合テレビ データ放送 (dボタン)

NHK総合テレビにチャンネルを合わせると、災害情報がL字テロップで流れます。より詳しい情報を確認したい場合は、dボタンを押すと、データ放送画面が表示されます。ここで「地域の防災・生活情報」を選ぶと、板橋区が発信する災害関連情報をテレビ画面で確認できます。



防災行政無線

区内165箇所に屋外スピーカーを設置しています。災害時、避難指示などの防災情報を放送します。非常事態であることに気付いてもらうことが一番の目的です。詳細情報の発信は難しい点に、ご理解をお願いします。

電話応答サービス

防災行政無線から流れた放送が聞き取れなかったときに、電話で放送内容を確認できるサービスです。

☎0120-357-411 (無料)

※放送内容は最新20件、24時間以内に放送されたものを確認できます。

代表質問

令和3年度板橋区の方針について質問しました。



ブランド戦略による発展を

Q
田中質問

令和3年度にリニューアルオープンする(仮称)植村直己スポーツセンターなどの特徴ある施設を核として施設展開をエリアで進めていくという考え方が重要。「住みたいまち」として選ばれる板橋をめざす取組みをすべきと考えるが、ブランド戦略を含め、区の見解は。

A
区長

ポストコロナを見据え、今まで以上に選ばれるまちをめざすため、ブランド戦略が必要と考えている。区への愛着と誇りを高め、交流とにぎわいを創出し、区の持続的な発展に向けて重点的に取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症対策の充実を

進展

Q
田中質問

商店街や地域の個店におけるキャッシュレス決済ポイント還元事業の再運用など、きめ細かく即効性のある支援策を講じるべき。

A
区長

令和2年度に実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業は、幅広い業種への支援や消費の循環に寄与した。今後、都の補正予算案で計上された生活応援事業の活用を視野に、デジタル技術を活用した支援事業を検討する。

➔ 再運用の予算が決まり、令和3年7月より実施

GIGAスクール構想における課題を問う

Q
田中質問

1人1台のタブレット端末環境への対応や、教員のICTスキル不足、児童・生徒の情報リテラシーの向上、保護者の理解と協力などの課題について、見解は。

A
教育長

小学校低学年では、タブレット端末の重さが課題であり、毎日持ち運ぶ教科書などの取捨選択の検討が必要と認識。また、インターネット環境がない家庭もあることから、家庭外でもオンライン学習ができるよう環境整備を推進する必要がある。

これからの災害対策を問う

Q
田中質問

水害時の避難方法として、高い建物を利用した垂直避難も有効と考える。想定し得る最大規模の荒川の浸水被害が発生した場合、垂直避難の課題や必要な準備は。

A
区長

多くの方が垂直避難を選択した場合、救助活動は困難を極め、命に危険が及ぶ可能性が高い点が課題。垂直避難の際には、居住地域の浸水継続時間以上の家庭内備蓄が必要となるため、3年7月に全戸配布するいたばしぐらしガイドでも周知を図る。